

面接対応での感染リスクを軽減するチェックシート

電話やWebで応募があり、面接を設定する際に確認すること

- 応募者に現在の体調の確認をする。「風邪に似た症状はないか?」「熱が37.5度以上あるか?」など。
※体調が悪い場合には、体調が良くなってから、再度応募してもらうように伝える。
- 2週間以内に道外や海外への渡航歴、渡航歴がある人や感染者との接触がないかを確認して、該当する場合には2週間経過して、体調に問題がなければ再度応募してもらうように伝える。
- 面接ではマスクを着用できることを応募者に伝える。
- 応募者が公共の交通機関を利用して面接場所に来る場合、通勤ラッシュの時間帯での面接はできるだけ避ける。
- 面接当日の時間短縮として、面接前に応募者が気になる点があれば事前に確認しておく。

面接当日の対応

- 面接を始める前に、面接担当者自身の体調を確認。風邪の症状などがいないかセルフチェックする。
- 面接開始時には、応募者の体調確認と消毒用アルコールなどで手を消毒してもらう。
※不調が確認された場合には、速やかにお帰りいただき、面接日程を再度調整する。
- 面接担当者はマスク着用で面接を実施する。
- 面接時に目・鼻・口を触れないように心掛ける。
- 面接前と後で換気と消毒をする。
※換気の悪い場所での面接は避ける。
- 面接担当者以外は応募者と不必要な接触は避ける。(推奨:2メートル以上距離をおく)
- 応募者が直接触れる箇所ができる限り少なく済むようにする。